



Android式カーナビゲーション

取扱説明書

PC-N30F3/PC-N30F4

- お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
 - また、この取扱説明書を大切に保管してください。

注意事項

1.安全上のご注意

お客様各位:安全のために、取り付け前必ずこの取扱説明書をお読みください。取り付け中に不明点があれば、support@mobet.co.jpにお問い合わせください。

2.重要事項説明

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしないでください。

必ず安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いた状態でご使用ください。

取扱説明書の内容および、交通安全上のルール、以下に記載の【ヒントと警告】の内容を十分に理解したうえで本製品をご利用ください。

1.交通安全に注意してください。

2.『かんたん取扱説明書』に従って、取り付けや配線をしてください。

3.子供に本製品を操作させないでください。人に危害が生じたり、機械の損傷が生じたりする可能性があります。

4.衛星測位機能を使用して運転する場合は、交通規則に従ってください。

5.電子機器の使用が禁止されている場所で利用しないでください。ガソリンスタンド、醸造所、強い電磁干渉地域などでの使用は発火の危険があるため、禁止されています。

6.電子機器や車両付属品の設置の訓練を受けていない、または経験が浅い場合、本製品のメンテナンスや取り付けを行わないでください。専門技術者以外が取り付けやメンテナンスを行うのは非常に危険です。

7.本製品は、直射日光の当たる場所や、他の有害物質、特にLCDスクリーンに接するかたちで設置しないでください。本製品を高温になる場所に設置しないでください。

直射日光が強く、ダッシュボードが高温になるときは、車用のサンシェードなどをお使いください。

8.画面の操作に鋭利なものや硬いものを使用しないでください。

ディスプレイやタッチスクリーンが損傷する可能性があります。

9.本製品の正常な動作を保証し、火災や感電の発生を防ぐために、湿度の高い環境では使用しないでください。

【ヒントと警告】

以下の事項特に注意する必要があります。

取り付け前にすべての指示を読み、専門技術者により取り付けを行ってください。



危険



禁止



本製品は車の12V電源システムに適しています(アースも必要です)。

24V車には使用できません。火災や故障の原因となります。



専門家の指導がない場合、電源ヒューズを交換しないでください。

不適切なヒューズを使用すると、製品の損傷、火災の原因になります。



交通規則違反や、事故を起こさないように、運転中は本製品を操作しないでください。

製品の正常な動作と安全のために、専門技術者以外による製品の設置、分解はしないでください。



製品の損傷や事故を起こさないよう十分に注意してください。

修理が必要な場合はご購入の店舗にお問い合わせください。



使用しないコード、RCAケーブルの先端は、テープで絶縁してください。

金属部に接触すると、ショートによる火災や感電、故障の原因となります。

注:ショートを防ぐために、取り付け前に車のエンジンを切り、B+に接続されているACCを外してください。

取扱説明書に関して

この取扱説明書に掲載されているスクリーンショット画像は、システムアップデートによって変更となる場合があります。

本書に掲載されていない事項や不明な点がございましたら、Piraraの販売店、もしくは support@mobet.co.jpに

お問い合わせください。

いかなる場合も、Pirara は偶発的、間接的または結果的な損失、その他の損失 / 損害に責任を負わないものとします。

これらの損失 / 損害は利益損失、収入損失、データ損失、製品損失または関連設備の損失、および本製品関連の購買者の時間損失、または本製品ハードウェア、ソフトウェアの使用によるその他の損失を含みます。なお、免責の範囲はこれらに限りません。

目次





1. ホーム画面、ドロップダウンメニュー	1
2. アプリの紹介	3
3. Bluetoothハンズフリー	5
4. ラジオとイコライザ音響	6
5. CarPlay/Android Auto ミラーリング接続	7
6. 音楽、動画	11
7. 外部入力、出力	12
8. バックカメラ	13
9. 設定	14
10. 車の設定	15

1.ホーム画面、ドロップダウンメニュー

1.1メインメニューのアイコンの紹介:



エリアA:

-  前のメニューに戻ります。または現在のアプリを終了します。
-  ホームメニューに移動します。開いていたアプリはバックグラウンドで実行されます。
-  バックグラウンドアプリを確認できます。
下にスライドすればすべてのバックグラウンドアプリを閉じることができます。
-  Bluetooth, GPS, WiFi, 時間, 縦画面表示

- ①動画アプリ
- ②Bluetoothアプリ
- ③設定アプリ
- ④アプリ画面
- ⑤マップアプリ
- ⑥音楽アプリ
- ⑦ラジオアプリ

1.2ドロップダウンメニュー:



ホーム画面上部から下に向けてスライプすると、ドロップダウンメニューが表示されます。

- ①Wi-FiのON/OFFを切り替え
- ②モバイルデータON/OFFを切り替え
- ③スクリーンショット
- ④ミュート
- スクリーン画像の保存場所:
ファイルアプリ→内部共有ストレージ→Pictures
- ⑤BluetoothのON/OFFを切り替え
- ⑥機内モード
- ⑦スクリーンオフ
- ⑧再起動
- ⑨画面の明るさを調整
- ⑩音量を調整

1.3フローティングボールを表示する

車載設定アプリ→フローティングボールをオンにして、フローティングボールは表示されます。

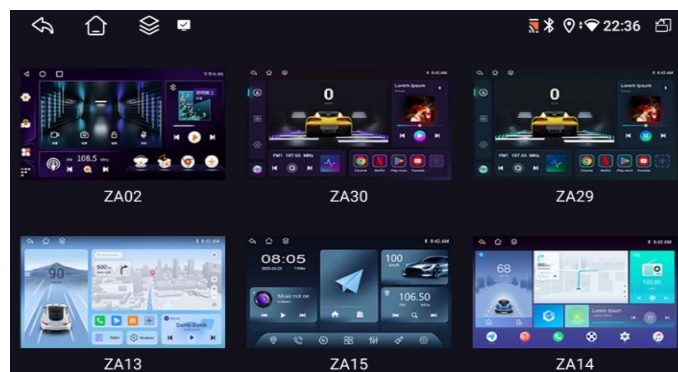
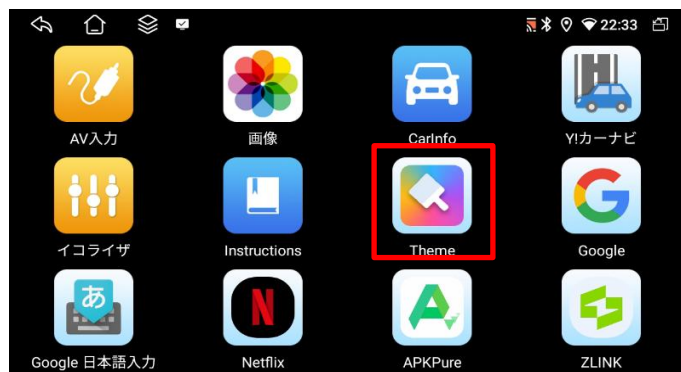


フローティングボタンをタッチすると、ホーム、音量－、音量＋、音量ミュート、戻る、電源オフ、が簡単に操作できるボタンが表示されます。
円の真ん中をタッチすると元の位置に戻ります。

1.ホーム画面、ドロップダウンメニュー

1.4ホーム画面の変更方法

Themeアプリを開き、変更したいホーム画面をタッチして、自動的に変更されます。



※Android式カーナビは自由にテーマ変更が可能な無料ソフトをダウンロードできます。

例:Nova Launcher

※外部アプリの使い方は外部サイトでご確認ください。

2.アプリの紹介

2.1出荷時インストール済みアプリ(システム内蔵アプリは削除不可)



2.2APKファイルでアプリのインストール方法

インストールしたいアプリのAPKファイルがあれば、ファイルアプリでインストールすることができます。



Youtubeアプリを例にして、APKファイルのアプリインストール方法を説明します。

- 1.オンラインでYoutubeのAPKファイルを検索します。
- 2.APKファイルをダウンロードして、USBメモリーカードに保存します。
- 3.図2-1のように付属のUSBケーブルをカーナビの裏面に差し込み、USBメモリーカードと接続します。

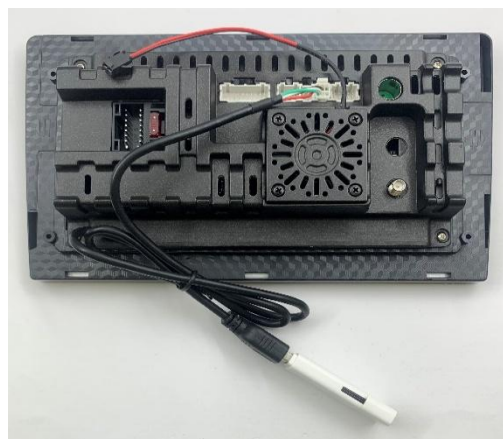


図2-1

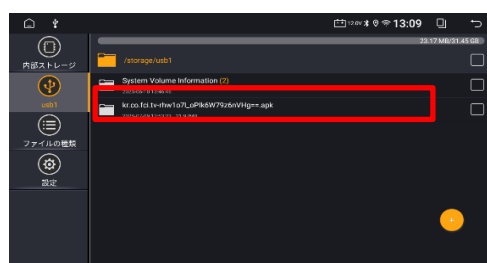


図2-2

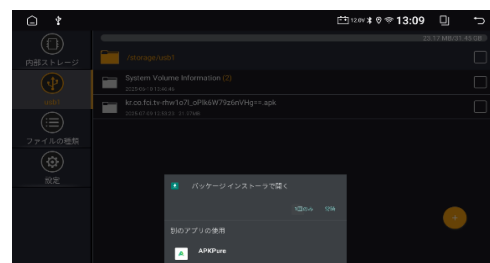


図2-3



図2-4

- 4.ファイルアプリを開き、図2-2画面に表示されているAPKファイルをタッチします。
- 5.図2-3のようにポップアップ画面が表示されたら、「1回のみ」をタッチします。
- 6.表示されたポップアップ画面の「インストール」→「完了」をタッチすれば、インストール完了です。(図2-4を参照)

2.アプリの紹介

2.3アプリのアンインストール(削除)方法

- 1.アンインストールするアプリを長押しすると、図2-6のようにゴミ箱マークが表示されます。
- 2.アプリをゴミ箱マークにドラッグします。アプリが赤くなったら指を離します。
- 3.「このアプリをアンインストールしますか？」のポップアップ画面が表示されたら、「OK」をタッチします。(図2-7を参照)

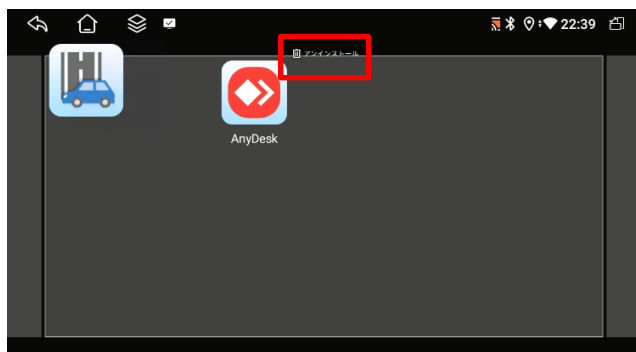


図2-6

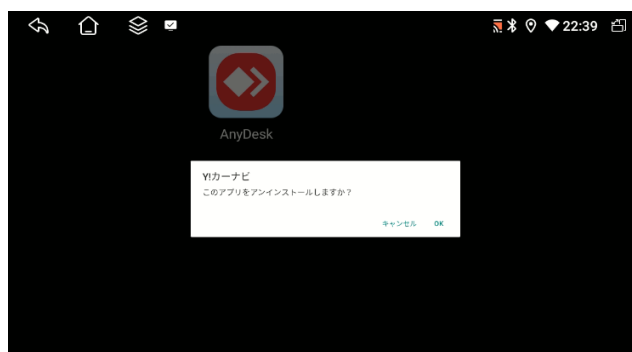


図2-7

2.4Playストアからアプリをインストールする方法

- 1.Playストアアプリを開き、「ログイン」をタッチします。(図2-8を参照)
- 2.GoogleアカウントのIDとパスワードを入力し、Google利用規約、プライバシーポリシーに同意して、ログインします。(図2-9を参照)

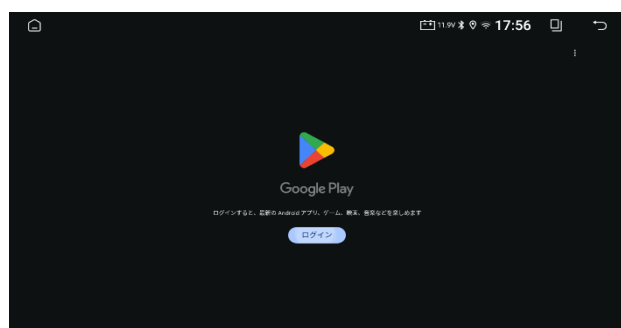


図2-8

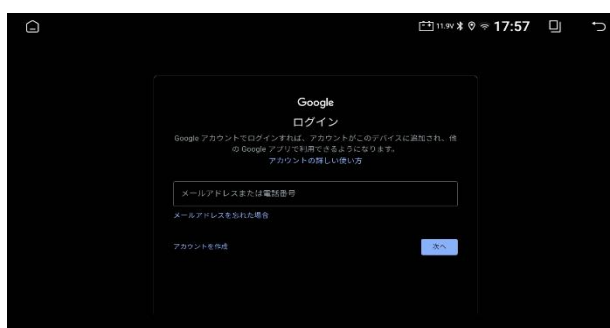


図2-9

- 3.検索窓にインストールしたいアプリ名を入力し、「インストール」をタッチします。(図2-10、図2-11を参照)

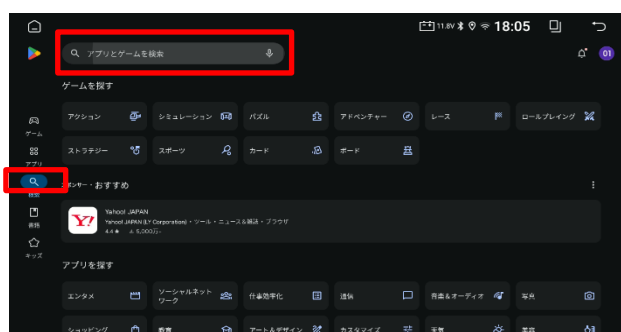


図2-10

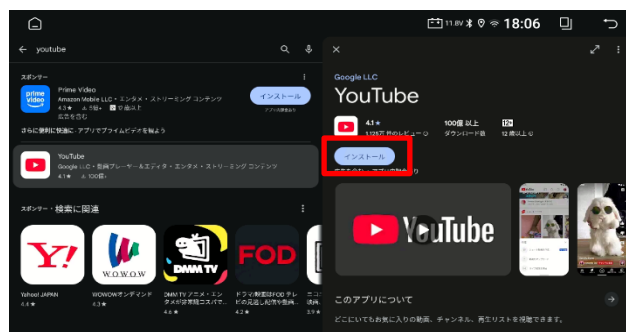


図2-11

- 4.インストール完了後、アプリ画面に表示されます。
※外部アプリAPKPureでもアプリのインストール可能です。(広告表示があります。ログインは不要です)

2.5APKPureからアプリをインストールする方法

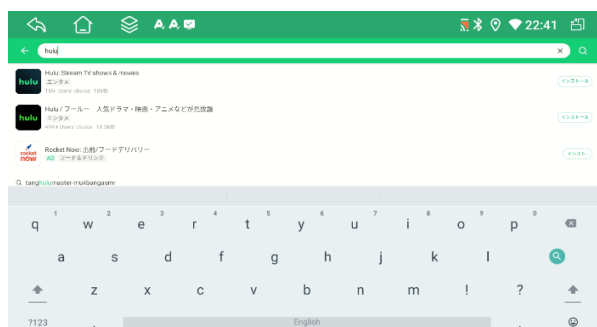


図2-12

- 1.APKPureアプリを開き、検索欄にアプリ名を入力し、「インストール」をタッチします。
- 2.インストール完了後、アプリ画面に表示されます。
※APKPureアプリはログイン不要ですが広告が多いです。

3. Bluetoothハンズフリー

3.1以下の 2 つのアイコンのいずれかを介して Bluetoothを開く



3.2Bluetoothの設定画面



- ①ダイヤル画面
- ②電話帳
- ③電話履歴
- ④ペアリング画面
- ⑤設定マーク

図3-1



図3-2

- ①接続可能なデバイス検索
- ②ペアリング済み
- ③ペアリング解除
- ④ペアリング履歴を削除

3.3Bluetooth 接続方法

1. 接続可能なデバイスの「検索マーク」(図3-2の①)をタッチします。
2. Bluetooth デバイスの検索が始まります。
3. 接続したいBluetoothのデバイス名をタッチします。
4. デバイスにポップアップ画面が表示されますので、「ペアリング」をタッチします。
5. 接続後、図3-2のように接続中のデバイス名が表示されます。

3.4Bluetooth 接続後、電話帳の同期方法

1. スマートフォンはBluetooth接続完了後、連絡先を同期をオンにします。(図3-4を参照)
2. カーナビのBluetoothアプリを開き、図3-3の電話帳画面で①番をタッチします。
3. ダウンロード完了後連絡先一覧が表示されます。



図3-3



図3-4

4.ラジオとイコライザー音響

4.1ラジオアプリの操作画面



- ①ノンストップチューニングが実行されます。 ②手動で放送局を保存します。
- ③LOC(Local)、DX(Distance)の変更が可能です。
LOCは近くの放送局の電波を強く受信するように設定します。
DXは遠くの放送局の電波も受信できるように設定します。
- ④イコライザー設定画面を開きます。
- ⑤.⑥周波数を変更します。連続タップで、指定の周波数に変更して保存できます。
(自動でチューニングできない場合は手動で変更してください。周波数を放送局保存エリアにドラッグして保存できます)
- ⑦REG、TA、AF、PTYプログラムを変更します。(設定不要です)
- RDS(Radio Data System)は、FMラジオ放送において音声以外のデータ情報を送信するためのシステムです。
- REG (Regional Setting): 地域の設定 TA(Traffic Program): 交通情報
AF(Alternative Frequency): 代替周波数 PTY(Program Type): 番組種別

4.2イコライザーアプリの操作画面



図4-2

- ①高音OFF、低、中、高を変更可能です。
- ②シーンモードでノーマル、ジャズ、ポップスなどの音響を選択できます。
- ③「カスタムモード」をタッチして、各周波数のバーを上下させ、好みの音響を自由に調整できます。
- ④図4-2の画面でスペクトラムが表示されます。
- ⑤EQバーが表示され、好みの音を自由に調整できます。
- ⑥Q値画面で低音Q、中間Q、高音Qを細かく調整します。
- ⑦サブウーファーの数値調整できます。
- ⑧図4-3のバランス画面で前席と後席の音量調整ができます。

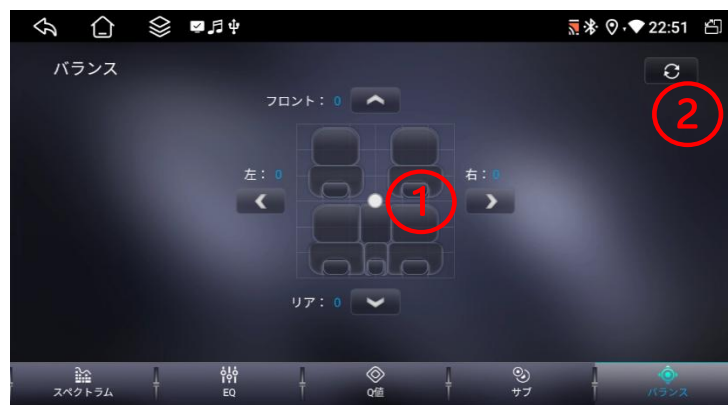


図4-3

- ①の白い点は音量が一番大きい場所を示します。
白い点をドラッグして移動させることで、
車内の音量バランスを調整できます。
- ②をタッチして白い点が中心に戻ります。

5.CarPlay/Android Auto ミラーリング接続

※ご注意

カーナビ本体のインターネット接続とZLINK接続の通信方法が異なるため、同時に利用できかねます。

CarPlay/Android Auto接続した場合はBluetooth音楽の接続が切れます。音楽を聴く場合はCarPlay/Android Auto内の音楽アプリをご利用ください。

5.1ZLINK画面の説明(旧バージョンアプリはTlink5)



図5-1

左図の画面はCarPlay/AA(Android Auto)接続画面です。

- ①ホーム画面
- ②接続方法の説明
- ③CARPLAY接続画面
- ④ANDROID AUTO,MIRROR(ミラーリング)接続画面の選択
- ⑥設定画面

5.2設定画面の説明

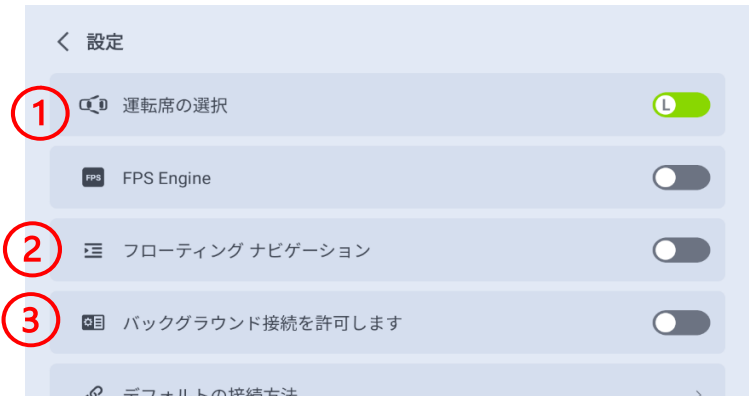


図5-2

- ①左ハンドル、右ハンドルを選択します。
- ②オンにした場合はホーム画面に下記のアイコンが表示されます。



- ③オンにした場合はバックグラウンドでZLINKのCarPlay/Android Auto ミラーリング接続が許可されカーナビ本体のインターネット接続が切断されます。

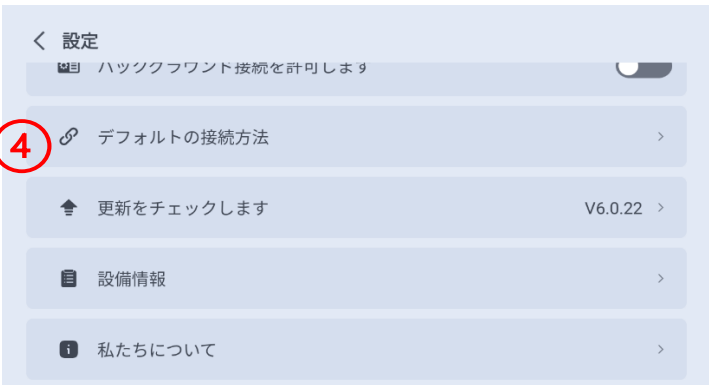


図5-2.1

- ④図5-3のように3種類のデフォルト接続方法を設定可能です。

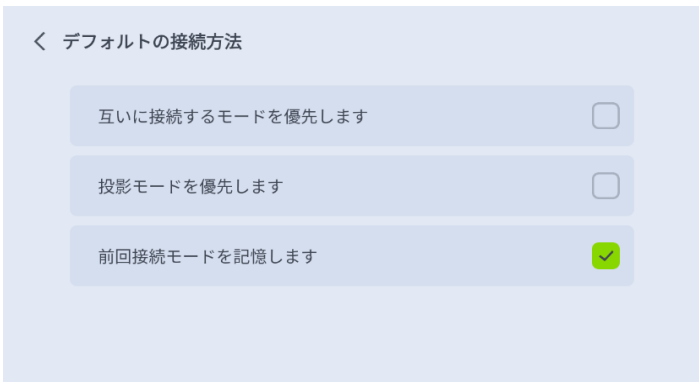


図5-3

5.3有線CarPlay接続

- 1.ZLINKアプリを開き、図5-1のCarPlay接続画面を開きます。
- 2.付属のUSBケーブル(4ピン6ピン両方利用可能)と純正充電用USBケーブルを使って、iPhoneと接続します。
- 3.iPhone画面にCarPlay接続許可のポップアップ画面が表示されたら、「CarPlayを使う」をタッチしてください。
- 4.カーナビにCarPlay画面が表示されれば、接続完了です。

※接続時間がかかる場合はiPhoneのBluetooth接続してから再確認してください。



接続許可のポップアップ画面

接続完了後のCarplay画面

5.CarPlay/Android Auto ミラーリング接続

5.4ワイヤレスCarPlay接続

- 1.ZLINKアプリを開き、図5-1のCarPlay接続画面を開きます。
 - 2.iPhoneの「設定」→「Bluetooth」をオンにして、Car BTを接続します。
 - 3.Car BT接続済みになったら、iPhoneで表示されるポップアップ画面の「CarPlayを使う」をタッチします。(図5-5を参照)
 - 4.カーナビにCarPlay画面が表示されれば、接続完了です。
- ※接続に時間がかかる場合はiPhoneの「設定」→「一般」→CarPlay画面でzlinkのCarPlay接続をご確認ください。(図5-6を参照)
- ※ お使いのiPhoneがワイヤレス CarPlay に対応していない場合は、有線接続を使用してください。



図5-4



図5-5

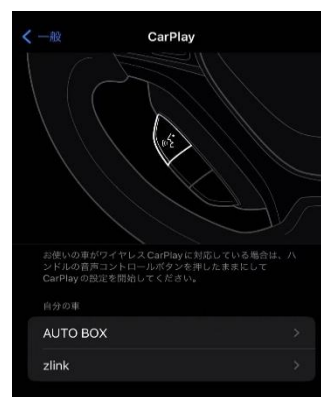


図5-6

5.5有線ミラーリング接続(iPhone)

- 1.ZLINKアプリを開き、図5-7のモバイルのMIRROR投影画面を開きます。
- 2.付属のUSBケーブル(4ピン6ピン両方利用可能)と純正充電用USBケーブルを使って、iPhoneと接続します。
- 3.iPhoneでポップアップ画面が表示されたら、「信頼」をタッチします。(図5-8を参照)
- 4.iPhoneのパスコードを入力して、接続完了です。

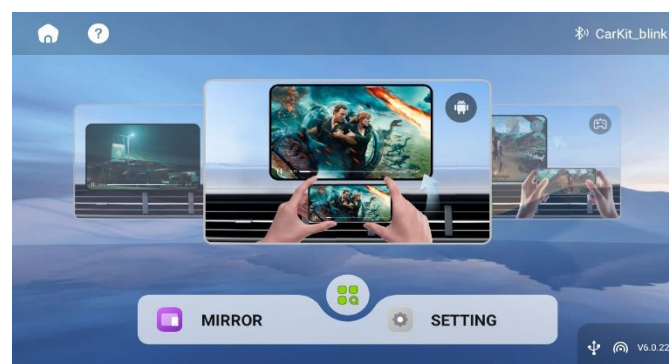


図5-7

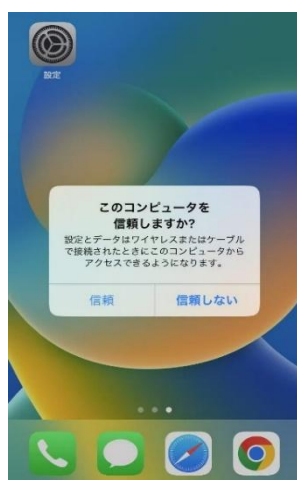


図5-8

5.6ワイヤレスミラーリング接続(iPhone)

- 1.ZLINKアプリを開き、図5-7のモバイルのMIRROR投影画面を開きます。
- 2.iPhoneの「設定」アプリ→「インターネット共有」→「ほかの人の接続を許可」をオンにします。(図5-10を参照)
- 3.カーナビ本体でiPhoneの共有したネットワークに接続します。(接続方法は第4章の「インターネット接続方法」をご参照ください)
- 4.iPhoneの画面の一番上の緑のバーにリンクマークが表示されたら、コントローラーセンターを開き、ミラーリングマークをタッチします。(図5-10を参照)

5.CarPlay/Android Auto ミラーリング接続

5.6ワイヤレスミラーリング接続(iPhone)

5.「zj-airplay」をタッチして、右側にチェックマークが表示されれば接続完了です。(図5-11を参照)



図5-10



コントロールセンター画面



図5-11

5.7有線ミラーリング接続(Androidスマートフォン)

- 1.ZLINKアプリを開き、図5-7のモバイルのMIRROR投影画面を開きます。
- 2.図5-1の②をタッチすると図5-12の画面が表示されます。AndroidスマートフォンでQRコードをスキャンして専用アプリをダウンロードします。

専用アプリ
Kalos



- 3.専用アプリを開き、付属のUSBケーブル(4ピン6ピン両方利用可能)と純正充電用USBケーブルを使って、Androidスマートフォンと接続します。
- 4.スマートフォンにポップアップ画面が表示されたら、OK→画面共有→OKの順でタッチします。

- 5.カーナビの画面が変わったら、一番下にスライドして、Mirro screen projectionをタッチします。(図5-13を参照)

- 6.カーナビでAndroidスマートフォンの画面が表示されれば接続完了です。
※接続できない場合は下記を確認してください。

- 1.Androidスマートフォンの開発者向けオプション設定で「USBデバイス」をONにしてください。※接続解除する場合はUSBケーブルを抜きます。



図5-12

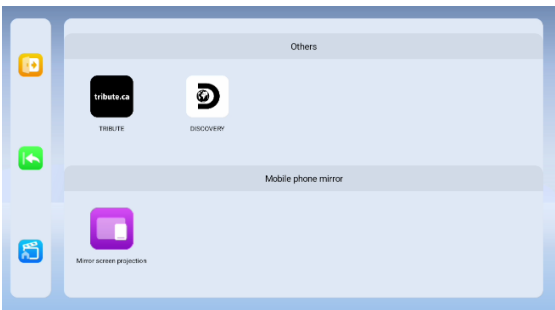


図5-13

5.8ワイヤレスミラーリング接続(Androidスマートフォン)

- 1.ZLINKアプリを開き、図5-7のモバイルのMIRROR投影画面を開きます。
- 2.図5-1の②をタッチすると図5-12の画面が表示されます。AndroidスマートフォンでQRコードをスキャンして専用アプリをダウンロードします。

専用アプリ
Kalos



- 3.カーナビ本体でスマートフォンの共有したネットワークに接続します。

(接続方法は第4章の「インターネット接続方法」をご参照ください)

- 4.スマートフォンのネットワークを接続完了後、カーナビのZLINKアプリを開き、スマートフォンは専用アプリKalosを開き、ログインしてから、画面上の+をタッチします。

Scan→zlink→画面全体を共有→OKの順にタッチします。

- 5.カーナビの画面が変わったら、一番下にスライドして、Mirro screen projectionをタッチします。(図5-13を参照)

- 6.カーナビでAndroidスマートフォンの画面が表示されれば接続完了です。

5.CarPlay/Android Auto ミラーリング接続

※接続できない場合は下記を確認してください。

- 1.カーナビとスマートフォンは同じネットワークを使用しているかを確認してください。

5.9有線Android Auto接続(Androidスマートフォン)

互換性:

有線 Android Auto は、Android 6.0 以降の Android 端末に対応しています。

Android Auto は、端末によって利用できない場合があります。

Android スマートフォンに Android Auto アプリをインストールする必要があります

接続手順:

- 1.ZLINKアプリを開き、図5-14のANDROID AUTO接続画面を開きます。
- 2.付属のUSBケーブル(4ピン6ピン両方利用可能)と純正充電用USBケーブルを使って、Androidスマートフォンと接続します。
- 3.スマートフォン画面にAndroid Auto接続許可のポップアップ画面が表示され、続行をタッチします。
- 4.カーナビにAndroid Auto画面が表示されれば、接続完了です。

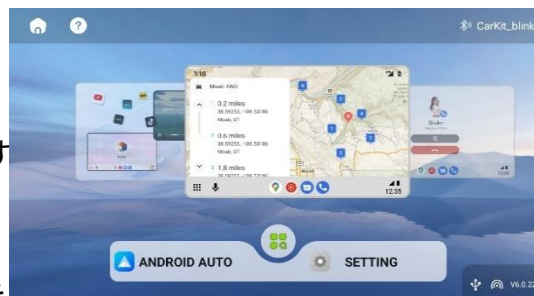


図5-14

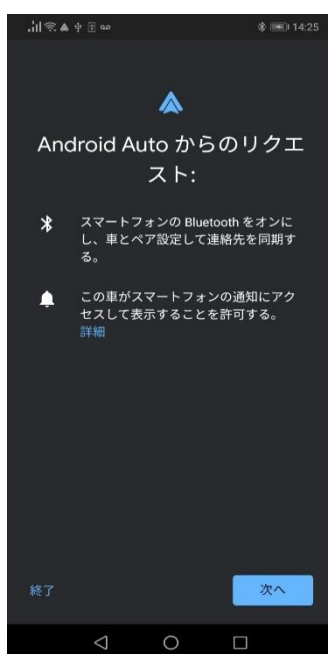


図5-15



図5-16

※Androidスマートフォンによって表示されるポップアップ画面が異なる場合があります。
USBケーブルのデータ伝送方法が表示されたら「ファイル転送」を選択します。

5.10ワイヤレスAndroid Auto接続(Androidスマートフォン)

互換性:

Android11.0を搭載したスマートフォンに対応しています。

ワイヤレスAndroid Autoに対応していない端末の場合は、有線接続をご利用ください。

接続手順:

- 1.ZLINKアプリを開き、図5-14のANDROID AUTO接続画面を開きます。
- 2.カーナビの「Car BT」Bluetoothを接続します。
- 3.カーナビに「ペアリング成功しました」と表示されたら、自動的にAndroidAuto接続開始します。
- 4.カーナビにAndroid Auto画面が表示されれば、接続完了です。

※Androidスマートフォンによって表示されるポップアップ画面が異なる場合があります。

6.音楽、動画

6.1音楽アプリ:

各アイコンの機能紹介



図6-1

- ①音楽の再生または一時停止します。
- ②現在視聴中のファイル一覧
- ③USBメモリーカードに保存されているファイル一覧
- ④SDカードに保存されているファイル一覧
- ⑤本体内部ストレージに保存されているファイル一覧
- ⑥イコライザー設定画面を開きます。
- ⑦後ろのファイルに戻します。
- ⑧前のファイルに進みます。
- ⑨ランダム、一曲リピート、全曲リピートを選択して再生できます。

6.2動画アプリ:



図6-2

- ①後ろのファイルに戻します。
- ②再生または一時停止します。
- ③前のファイルに進みます。
- ④ランダム、一曲リピート、全曲リピートを選択して再生できます。
- ⑤現在視聴中のファイル一覧
- ⑥イコライザー設定画面を開きます。

7.外部入力出力

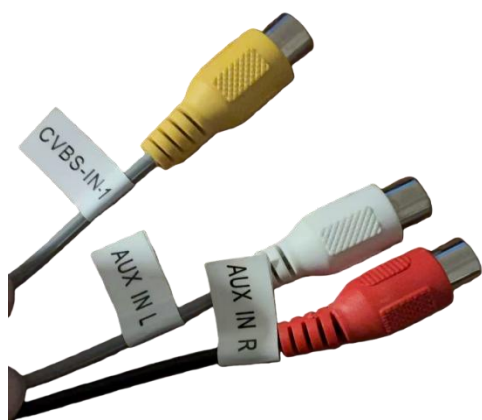
7.1外部入力デバイスとの接続方法

使用可能な外部入力デバイス：

RCAケーブルで接続可能なDVDプレーヤー、地デジチューナーは本製品とセットでご利用可能です。

外部入力デバイスとの接続方法

- 1.外部入力デバイスのRCAケーブルは図7-1の付属のRCAケーブルのCVBS IN(ビデオイン)、AUX IN L(音声入力 L)、AUX IN R(音声入力 R)と接続します。
- 2.接続完了後、本体のAV入力アプリを開いてご視聴ください。



AV入力アプリ

図7-1

7.2外部出力デバイスとの接続方法

使用可能な外部出力デバイス：

RCAケーブルで接続可能なフリップダウンモニター、後席モニターは本製品とセットでご利用可能です。

外部出力デバイスとの接続方法(RCAケーブル)

- 1.外部出力デバイスのRCAケーブルは図7-2の映像出力ケーブルの任意RCA端子と接続します。
- 2.カーナビに表示している映像を外部デバイスでご視聴ください。



図7-2

※外部デバイスに映像が映らない場合は外部デバイスの映像入力方式をPALに変更してご確認ください。

※RCAケーブルで外部出力する場合はカーナビの画面そのまま出力します。(別々の画面表示できかねます。)

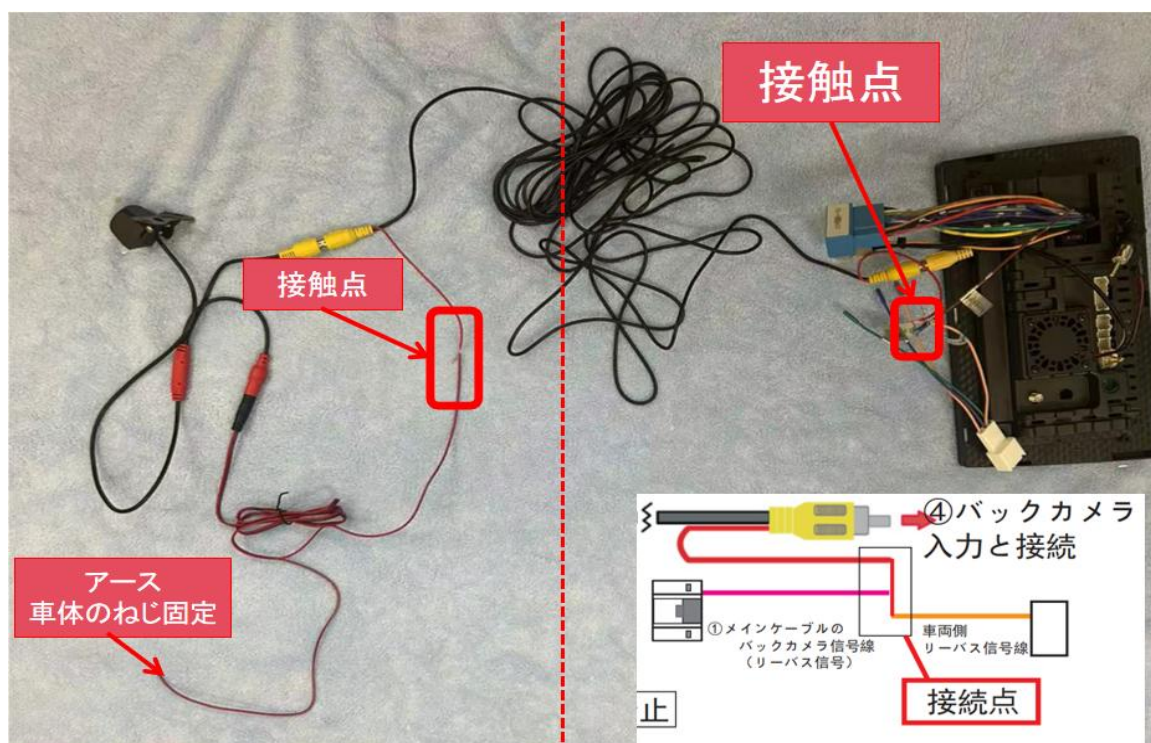
8. バックカメラ

8.1 バックカメラ配線図：

図8-1はバックカメラの配線図です(『かんたん取扱説明書』の5ページにも掲載しています)。

配線は下記の3箇所を接続する必要があります。

1. バックカメラ側の黒いケーブルは車体のネジに固定します。
2. バックカメラ側の2本赤いケーブルを接続します。
3. カーナビ側のメインケーブルのリバース信号線、車両のリバース信号線、黄色い端子横の赤いケーブルを接続します。



バックカメラが映らない場合の確認事項

1. 付属のバックカメラをご利用でしょうか。

※他社カメラに対応しておりません。純正のバックカメラをご利用の場合、変換ケーブルが必要になります。

製品を購入した店舗にご確認ください。

2. 配線時はギボシを使わず、絶縁テープで接続してください。

9.設定

設定アプリの項目説明

9.1インターネット接続方法

- 1.「設定」アプリ→「ネットワークとインターネット」を順にタッチします。
- 2.接続可能なWi-Fiをタッチして、Wi-Fiのパスワードを入力します。

図11-2のように「接続済み」と表示されれば、Wi-Fi接続は完了です。



図9-1



図9-2

※アクセスポイントとデザリング:カーナビ本体でWi-Fiを接続した状態で、Wi-Fiをほかのデバイスに共有設定できます。

アプリと通知

アプリ:最近開いたアプリを確認することができます。

デフォルトアプリ、権限マネージャー、特別なアプリアクセルの設定と確認ができます。

位置情報

最近の位置情報をリクエストしたアプリが表示されます。

アプリの位置情報へのアクセス権限設定できます。

アカウント

GoogleアカウントのIDとパスポートがあれば、アカウント追加できます。

自動的にデータ同期設定ができます。

ユーザー補助

フォントサイズ、ダークテーマ、表示拡大、色補正、色反転などの設定ができます。

システム

システムでは言語と入力、日付と時刻、リセットオプションの設定ができます。

言語の変更方法

言語と入力→言語の画面を開き、言語追加をタッチして、追加したい言語を選択します。

追加したい言語を一番上の行にドロップします。

カーナビ言語は一番上の行の言語に変更されます。

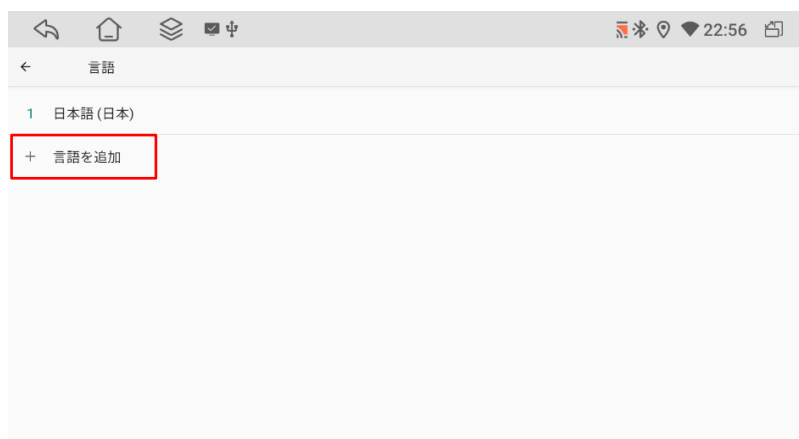


図9-3

日付と時刻

インターネット接続後、時刻が同期できない場合はタイムゾーンをGMT+09:00日本標準時に変更してください。

10.車の設定アプリ

10.1高速起動機能(記憶機能)

車のエンジンをオフにすると、実行中のすべてプログラムが終了し、超低消費電力の休眠モードに入ります。

従って、設定しました休眠時間内に車を再起動すると、システムは2秒で起動します。

休眠時間は車載設定アプリ→設定マーク→000000→クイックブートの画面で設定します。4つ選択肢があります。(図10-1、10-2を参考)

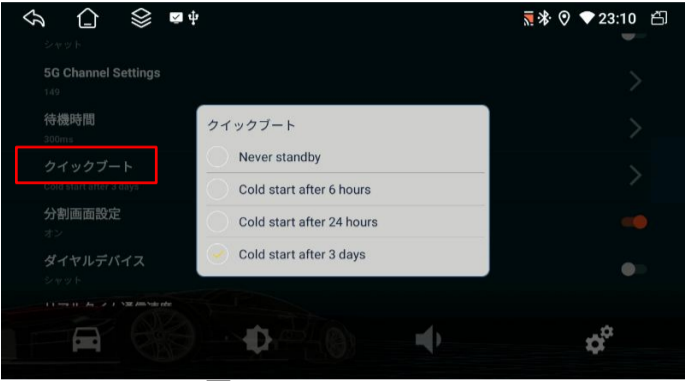


図10-1



図10-2

システムの存続を維持するために必要な電流は10mA未満です。典型的なカーバッテリー容量(40Ah - 60Ah)の場合、超低消費電力状態ではカーバッテリーの消耗に理論的には約160-250日がかかります。

本商品は最長7日間の設定ができます。車を7日以上駐車すると、次に車を始動したときに、システムが起動するまでに50秒かかります。

車をガレージに長期間駐車している場合はバッテリーが消耗される恐れがありますので、「睡眠なし」を設定してください。

毎日車を運転している場合は「1日の睡眠」、または「3日間の睡眠」を設定してください。毎日車を運転している場合、

車のバッテリーはタイミングで充電されます。

注意

※休眠時間設定した場合は設定内容を保存するため、必ずドロップダウンメニューの「Reboot」をタッチしてください。

※高速起動を機能することを保証するために、電源ハーネスの2つの重要なワイヤ <12v/ACC>&<12v/バッテリー> が正しく配線される必要があります。配線が適切でないと休眠モードに入れないので、高速起動できなくなります。

10.2本体のタッチボタンの設定方法

本体のタッチボタンが反応しない場合は、車載設定アプリ→歯車設定マーク→000000→タッチボタン学習の画面で設定できます。

1.「キャリブ...」→画面の電源マークをタッチして、ポップアップ画面が表示されますがタッチしないで、本体横側の電源ボタンをタッチします。画面の電源マークがオレンジ色になれば、電源ボタン設定完了です。(図10-3、10-4を参考)

2.他のタッチボタンも同じ手順で設定して、全てオレンジ色になれば設定完了です。(図10-5を参考)

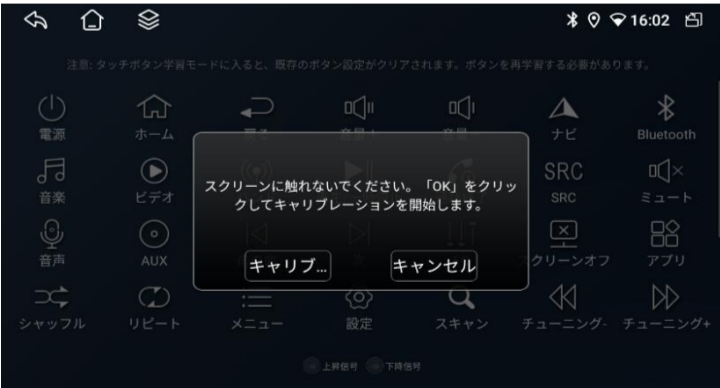


図10-3



図10-4



図10-5

10.車の設定アプリ

10.3ステアリングスイッチの設定方法

- 1.車載設定アプリ→「パーティコントロール設定インターフェースに入る」をタッチして、ステアリングスイッチ設定画面を開きます。
 - 2.図10-6の「わかった」ボタンをタッチした後、ボリューム+をタッチしてから、ステアリングスイッチのボリューム+ボタンを押してボリューム+マークがオレンジ色になれば、ボリューム+のスイッチ設定完了です。(図10-7を参考)
 - 3.他のスイッチボタンも同じ手順で設定して、全てオレンジ色になれば設定完了です。(図10-8を参考)
- 設定画面を閉じて、ステアリングスイッチの動作確認してください。



図10-6

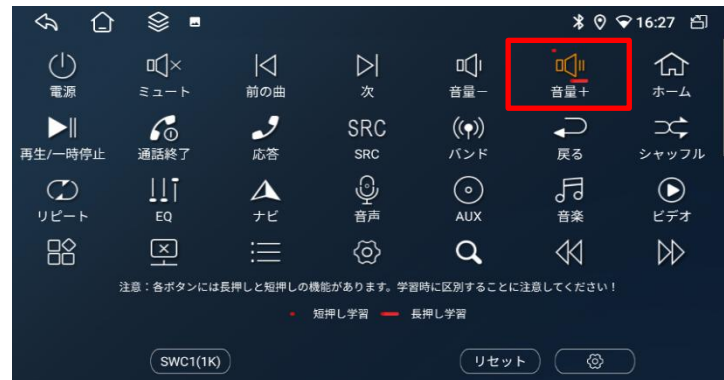


図10-7



図10-8

※通常はSWC1になっていますがスイッチが反応しない場合はSWC2またSWC3に変更して、再設定してください。(図10-9を参照)

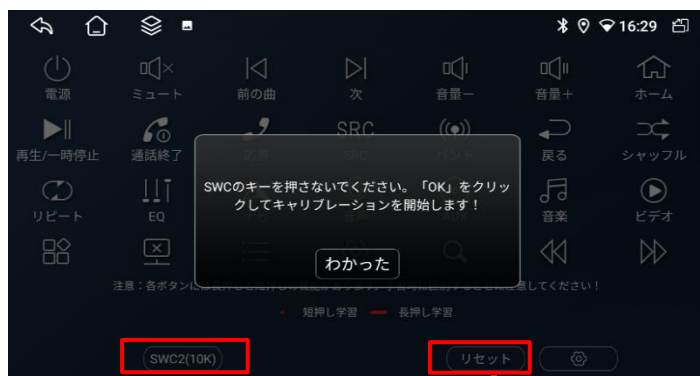


図10-9

設定を間違えた場合はリセットをタッチして、再設定できます。

10.車の設定アプリ

10.4工場リセット

製品の機能が正常に動作しない場合は、製品をリセットしてください。

1.設定アプリ→システム→リセットオプション→すべてのデータを削去(出荷時リセット)→タブレットをリセットの順にタッチします。

工場リセットが開始し、本体自動的に再起動されます。

2.再起動後、ネットワークに接続してください。アプリが自動的に更新されます。

※更新完了まで電源オフにしないでください。

※モニターのリセット穴使用しないでください。(モニターが破損する恐れがあります。)

製品の動作が重くなった場合はキャッシュ削除、不要なアプリを削除してください。 アプリの削除:(第2.2章を参照)

キャッシュ削除:バックグラウンドアプリを閉じる(第1.1章を参照)

10.5システムのオンラインショップアップ方法

製品を快適に利用するために、製品システムを常に最新バージョンにしてください。

1.本体をインターネットに接続します。(データサイズが大きいため、ポケットWi-FiまたはホームWi-Fiをご利用ください。)

2.設定アプリ→デバイス情報→ワイヤレスアップデート→「最新バージョンのファイルがあるかを確認します」の順でタッチし、

3.新バージョンが表示されたら「ダウンロード」をタッチします。

4.ダウンロード完了後、「いますぐ更新する」→「OK」をタッチします。

5.本体は自動的に再起動されます。再起動後バージョンアップ完了です。

※再起動後はアプリが自動的に更新します。更新が完了まで電源オフにしないでください。